

地球にやさしい、農業スタイル



フィールデイズインジャパンとは？

ニュージーランドの国民的農業祭にヒントを得て2004年にスタート。環境に負荷をかけないものづくりをしている生産者と消費者を結び、農業と食とエコロジーのイベントです。各種プログラムや参加者同士の交流を通して、未来へとつなげるこれからの農業や食のあり方を提案する場となっています。



2025
未来フォーラム

2024未来フォーラム

2023

2022北欧の風道の駅とうべつ
(当別町)にて開催

2020ー2021 コロナ感染防止のため中止
冊子「グラスフェッドってなあに？」を発刊

2019えこりん村(恵庭市)にて開催

2018ファームエイジ 特設会場(当別町)にて開催

2017えこりん村(恵庭市)にて開催

2016ファームエイジ 特設会場(当別町)にて開催

2015えこりん村(恵庭市)にて開催

2004ー2014ファームエイジ 特設会場(当別町)にて開催



挨拶

フィールデイズ実行委員長

小谷 栄二

(ファームエイジ株式会社)

私たちは長年、地球環境に負荷をかけないで経営として成り立つ技術(放牧)を世の中に広める活動をして参りました。グラスフェッドの価値を消費者に正しく伝えるイベント「フィールデイズ」を継続してきたのもその一環です。このフォーラムによって、立場を越えた新しいつながり(化学反応)ができますことを楽しみにしております。



地球にやさしい、農業スタイル



フィールデイズ未来フォーラム2025

「グラスフェッドってなあに？」vol.2

【定員】
100名
事前申込

草食動物を草で育てるという基本に立ち返り、その魅力を伝えていく取り組みが今、様々な場所で新たに芽吹いています。持続可能な農業をいつまでも続けていくために、私たちは何を選び、どこを目指していけばよいのでしょうか。一緒に考えていきましょう。



2025年
2月7日 金

13:00～17:00 (開場/12:30)

開 場 | 12:30 会 費 | 2000 円

SCARTSコート 札幌市民交流プラザ1F

札幌市中央区北1条西1 011-271-1000(9:00-22:00)

【公共交通機関をご利用ください】

地下鉄東西線、南北線、東豊線「大通」駅

30番出口から西2丁目地下歩道より直結(徒歩約2分)

さっぽろ地下街オーロラタウンから西2丁目地下歩道より直結



申込方法

詳細・お申し込みはWEBで

<https://fieldays2025.peatix.com/>



参加申込期間

2024.12.1(日)→2025.1.31(金)

定員になり次第、締め切らせていただきます。

【お問合せ】

創地農業21事務局(下村・笠島)

携帯電話: 090-2877-8817 受付: 9時～18時(月～金)

E-mail: info@souchi21.jp

Webサイトにてご確認ください。

(<https://www.souchi21.jp>)



主催: フィールドAYS実行委員会

後援: ニュージーランド大使館、北海道、札幌市、当別町、札幌ニュージーランド協会、北海道銀行、辻野グループ、(株)アレフえこりん村、ファームエイジ(株)、創地農業21

協賛: (有)札幌クラフト、(株)ファーム鳥取、(株)イークラフトマン、(株)ゆあさ札幌支店、(株)ハイテックシステム、大同生命保険(株)、(株)アレフえこりん村、ファームエイジ(株)

13:40ー14:20
講話



藤田龍太さんが経営する「ジャージーの箱庭」では、「人も動物も共に幸せになれる共存」を大切にしています。北海道当別町のこの牧場では、9頭のジャージー牛が草地でのんびり育ち、農業機械を使わず自然のサイクルを重視。牛のフンで大地を豊かにし、無理な大量生産をせず、心を込めて少量の牛乳を提供しています。「ジャージーの箱庭」の牛乳には、人、動物、自然への思いが詰まっています。



藤田 龍太さん
(ジャージーの箱庭)

北海道石狩郡当別町



公開対談 15:40ー16:45

なぜグラスフェッドなのか？ 自然の恵みを、未来の食卓へ。グラスフェッドでつながる、健康な未来。

宇野 剛司さん
(宇野牧場)

北海道天塩町

北海道天塩町サラキシに広がる宇野牧場では、自然豊かな環境で放牧酪農が行われています。日本海の潮風と山々に囲まれた230ヘクタールの広大な敷地で、牛たちは自由に草を食べたり休んだりして過ごしています。潮風が育てた美味しい牧草を食べた牛から生まれる牛乳は、深いコクと自然の風味が特徴です。宇野さんは、牛たちが健康で幸せに暮らせる環境を守りながら、最高の牛乳を届けることを目指しています。

理想の放牧を追求する宇野剛司さんと、札幌で食のコンサルをする鈴木俊文さんが「グラスフェッド」について語り合います。

グラスフェッドとは、牛が自由に牧草を食べて育つ完全放牧のことで、健康的な成分を含む牛乳や肉が生産できるとされています。対談では、環境保護や牛の健康に焦点を当て、それぞれがこの育て方に惹かれる理由を語ります。グラスフェッドが持つ未来への可能性をお楽しみください。

鈴木 俊文さん
(鈴木牧場)

北海道十勝郡広尾町

鈴木 敏文さん
(鈴木牧場)

北海道十勝郡広尾町



14:40ー15:20
講話

「鈴木牧場」は、哺乳類が最初に口にする「乳」をテーマにしています。北海道広尾町のこの牧場では、牛から分けてもらった牛乳を通じて、多くの人に幸せを届けたいと考えています。鈴木さんは、太陽の光や豊かな土、清らかな水を活かして、健康で幸せな牛を育てています。牛乳が人々に「口福」をもたらすことを喜びとし、「豊かで安心できる食べ物を作り続ける」ことが鈴木牧場の理念です。



宇野剛司 × 鈴木俊介